

令和3年（2021年）8月の大雨特定災害対策本部会議（第7回）  
議事録

日時：令和3年8月19日10:57～11:20

場所：中央合同庁舎8号館3階 災害対策本部会議室

出席者：【本部長】 防災担当大臣  
【副本部長】 副大臣（防災担当）  
大臣政務官（防災担当）  
内閣官房 危機管理監  
【本部員】 内閣府 政策統括官（防災担当）  
内閣府 男女共同参画局長  
(代理：大臣官房審議官  
(男女共同参画局担当))  
警察庁 警備局長  
(代理：警備運用部長)  
総務省 大臣官房長  
(代理：大臣官房総務課長)  
総務省 総合通信基盤局長  
総務省 自治行政局公務員部長  
消防庁 次長  
消防庁 審議官  
財務省 大臣官房審議官（危機管理担当）  
文部科学省 大臣官房文教施設企画・防災部長  
(代理：大臣官房文教施設企画・  
防災部参事官（施設防災担当）)  
厚生労働省 大臣官房危機管理・医務技術総括審議官  
農林水産省 大臣官房危機管理・政策立案総括審議官  
経済産業省 大臣官房技術総括・保安審議官  
国土交通省 水管理・国土保全局長  
国土交通省 大臣官房危機管理・運輸安全政策審議官  
国土地理院 参事官  
気象庁 気象防災監  
海上保安庁 海上保安監  
  
環境省 環境再生・資源循環局長  
(代理：大臣官房サイバーセキュリティ・  
情報化審議官)

防衛省  
【内閣府調査チーム】

統合幕僚監部総括官  
内閣府政策統括官（防災担当）付  
参事官（災害緊急事態対処担当）付  
企画官

1. 開会（内閣府政策統括官（防災担当）により議事次第に沿って議事進行）

2. 被害状況等の報告について

<気象庁>

資料に沿って説明

- ・西日本と東日本では、これまでの記録的な大雨により土砂災害の危険度が非常に高まっている所があるという状況は変わらない。今朝も、四国に強い雨域が入り、高知県、徳島県など1時間に50ミリを超える非常に激しい雨が降ったところがある。この激しい雨を降らす発達した雲域は、現在、近畿地方にかかっている状況である。西日本と東日本では、本日はまだ非常に激しい雨が降って大雨となる所がある見込み。次第に解消に向かうが、20日もところによっては激しい雨が降る可能性がある状況。
- ・本日21時の予想天気図について、前線の活動は徐々に弱まり、前線を解析できない状況であるが、暖かく湿った空気や上空の寒気の影響で、西日本と東日本では、この後20日にかけて大気非常に不安定な状態が続く見込み。
- ・雨の予想については、明日の朝6時までの24時間の予想降水量は、四国地方で150ミリ、東海地方で120ミリ、中国地方・近畿地方で100ミリを予想している。その後の24時間については、全般に50～100ミリの雨を予想している。大雨の警報級の可能性は、今日の日中は広い範囲で高い状況。暖かく湿った空気の入りやすい四国では、今夜も可能性が高い状況が続く。全体でみると、前線の活動の弱まりとともに解消の方向に向かっている。
- ・これまでの降水の状況について、直近24時間西日本から東日本の太平洋側を中心にまとまった雨が降っている。200ミリを超える大雨となっているところはあまり見られない状況。期間降水量は、西日本から東日本広く300ミリから400ミリを超える大雨となっており、九州を中心に1,000ミリを超えているところが多くある。
- ・向こう1週間の見通しは、太平洋にある高気圧が徐々に強まって、日本付近に張り出してくる。ただ、上空の寒気は23日くらいまでは影響を受けそうであり、広い範囲での大雨はないと思われるが、ところによっては急な強い雨が降る可能性があり、不安定な状況。
- ・気象庁としては、引き続き適時に防災気象情報を発表し、各地の気象台からJ E T T（気象庁防災対応支援チーム）の派遣や市町村と適宜ホットライン体制

を築くなど、しっかりと支援をしていきたい。

### 3. 被害状況及び各省庁の対応状況等について

#### <内閣府政策統括官（防災担当）>

- ・人的被害は、死者8名など、調査中死者、心肺停止、行方不明、安否不明を合わせると、昨日の19名から21名に増えている。
- ・建物の被害は、全壊12棟、半壊10棟、その他床上・床下浸水が4,600棟余り報告されている。この数は、まだ増えるものと見込んでいる。
- ・各省の対応は、それぞれしっかりと体制を組んでいただいているところ。災害救助法は、6県21市町に適用されている。
- ・河川の状況は、氾濫が確認されている河川が、昨日の61河川から本日は68河川ということでプラス7河川となっている。土砂災害も昨日から70件増えて188件の報告を受けている。
- ・ライフラインは、徳島県、長野県、高知県などで新たに停電が発生しており、4,580戸、水道は静岡県を中心に若干増え、断水が505戸となっている。
- ・交通関係は資料に記載のとおり被害を受けている。
- ・避難については、広島県、佐賀県などが多いが、昨日よりも減り、1,300名ほどの方々が避難所に身を寄せている。佐賀県などでは、ホテルの活用についても検討が始まっているところである。

#### <警察庁>

##### 資料に沿って説明

- ・人的被害関係は、資料に昨日の主な動きについては⑭と⑯であるが、熊本県の球磨川で⑭八代市内、⑯人吉市内でそれぞれひとりずつ心配停止者が発見されている。いずれも医師による死亡確認を経て調査中死体として報告されている。
- ・⑮については、広島市内の元安川河口付近で心肺停止の1名が発見をされている。
- ・本日も引き続き行方不明者の捜索活動等にあたるとともに、被害発生に備えて即応体制を保持する。また、資料右下の写真のとおりであるが、危険個所の警戒や避難所での声掛けなどの活動も継続いたします。

#### <消防庁>

- ・広島県東広島市と安佐北区の行方不明の方について引き続き捜索中である。
- ・長崎県雲仙市の土砂崩れで、32歳女性の方を救出、死亡が確認された。残る一人の行方不明者を捜索中である。
- ・熊本県人吉市の球磨川で1人を救出、災害関連調査中である。
- ・鹿児島県日置市で新たに死者1名、80代女性が側溝で倒れていたところを

発見された。

- ・緊急消防援助隊の活動について、昨日佐賀県の消防防災ヘリが情報収集の活動を実施した。本日も計45機が待機中である。
- ・土砂災害警戒情報が発令されているにもかかわらず、避難指示の出ていなかった徳島県小松島市と神山町について、本日朝、県に対して注意喚起を行った。

#### <海上保安庁>

資料に沿って説明

- ・体制等について、特に瀬戸内海と九州地方にヘリコプターを搭載した巡視船を前進配備させて、事案に対応したいと考えている。
- ・これからも即応体制をしっかりとって対応したい。

#### <防衛省>

資料番号に沿って説明。

- ・引き続き初動体制部隊の待機など、警戒態勢を維持している。
- ・長崎県の雲仙市における土砂崩れの件について、本日も約30名の態勢で捜索活動を実施している。
- ・六角川氾濫の関係であるが、昨日大町町のため池で斜面の崩落による越水の恐れがあるという事で、周辺住民の避難誘導を実施した。
- ・避難誘導の完了をもって佐賀県知事から災害派遣の撤収要請があり、佐賀県におけるすべての災害派遣活動を終了した。活動実績は資料記載のとおり。

#### <国土交通省>

- ・水管理・国土保全局からまず申し上げる。河川、土砂災害の報告は順次増えてきている。
- ・これまで直轄河川の氾濫は2河川という事で、六角川と江の川を挙げていたが、愛知県の豊川において、霞提地区の溢水被害の報告があった。人家への被害はないが、川の氾濫計上している。
- ・交通関係については引き続き、主として鉄道に被害が発生している。現在のところ復旧したものを除き、5事業者9路線11か所で被害を確認している。
- ・昨日の報告以降、新たに、島根県のJR山陰線において法面変状があった。路場のレールを支えるバラストの流出が発生していた岐阜県の明知鉄道については、復旧し運転を再開している。
- ・大分県のJR久大本線の被害箇所、鉄道総研による現地確認を実施し、復旧を図っている。降雨の状況を踏まえながら点検を実施しているが、まだ時間を要する見込みである路線については、代替輸送含めた調整を進めている。
- ・その他、本日朝の時点で、9事業者21路線で運転見合わせをしている。

- ・空港については、引き続き空港施設に被害等はない。
- ・旅客船やバス等は、引き続き運休が発生しているが、規模は縮小している状況である。

#### <厚生労働省>

##### 資料に沿って説明

- ・水道の被害状況は、長野県、静岡県、広島県、長崎県、熊本県の5県の8事業者において、水道管の損傷等により505戸が断水中となっている。

#### <経済産業省>

##### 資料に沿って説明

- ・停電の状況については、7時時点では、長野、徳島、高知の3県で停電戸数が多かったが、10時時点の断面で申し上げますと、長野の1,200戸は10戸、徳島の2,200戸は200戸、高知の900戸は100戸まで下がっている。
- ・雨が酷くなり、風雨による樹木接触や落雷によって散発的な停電は発生するが、重要な電気設備に異常はないことから復旧は早いと考えている。

#### <環境省>

##### 資料に沿って説明

- ・災害廃棄物関係は、現時点で5県9市町において仮置場を設置している。その他複数市町についても仮置場の設置を予定している。
- ・現地支援としては、地方環境事務所の職員延べ10名を、岐阜県、長野県、福岡県、佐賀県に派遣して、現場の状況確認と仮置場の適切な運用に向けた助言を実施しており、引き続き適切な運用支援に努めていく。

#### <佐賀県内閣府調査チーム>

- ・佐賀県は昨日夕方時点、県の災害対策本部を復旧復興推進室に切り替えた。
- ・引き続き現地のニーズを踏まえてしっかり対応していく。

#### <気象庁>

- ・先ほど消防庁から、今朝の土砂災害警戒情報の発表に伴って避難情報が出されていない市町があると報告があった。その市町に対する徳島地方気象台のホットラインの実施状況について、簡単に報告する。
- ・小松島市については、土砂災害警戒情報の発表前にその旨ホットラインをしている。その後、土砂災害警戒情報が7時15分に発表されているが、その後8時6分にもホットラインをさせていただき、9時15分には避難指示が発令されたというふうに承知している。

- ・ 神山町についても同じように、土砂災害警戒情報が6時55分に発表となっているが、その前にその旨のホットラインをしている。その後、8時過ぎ、9時前、9時過ぎに3度ホットラインをして趣旨をしっかりと説明したところ。

(報道関係者入室)

#### 4. 棚橋特定災害対策本部長発言

<棚橋特定災害対策本部長>

- ・ 今回の大雨により、今朝8時時点で、亡くなられた方が8名、亡くなられた方で災害との関連を調査中の方が8名、心肺停止の方が1名、行方不明の方が3名、安否不明の方が1名、などの人的被害が報告されている。また、多数の住家被害も報告されている。
- ・ 亡くなられた方々に心からご冥福をお祈り申し上げ、また、ご家族、関係者の皆様に方々にお見舞い申し上げる。さらには、被害にあわれたすべての方々に心よりお見舞い申し上げる。
- ・ 前線の活動は次第に弱まる見込みであるが、西日本と東日本では、明日20日にかけて、大気の非常に不安定な状態が続く見込みである。
- ・ これまでの記録的な大雨により、土砂災害の危険度が非常に高まっている所や増水している河川がある。土砂災害に厳重に警戒し、低い土地の浸水などにも警戒してください。
- ・ 本部員の皆様におかれては、引き続き、被害状況の迅速な把握をお願いする。被災された方々や被災自治体の声にとしっかりと耳を傾け、政府一体となって早期復旧と被災者支援に取り組むようお願いをする。
- ・ 市町村長の皆様方におかれては、土砂災害警戒情報が発表された場合には、避難指示を出していただくことが基本であることから、国や県の河川・砂防部局や気象台との連携を密にし、空振りを恐れず、避難指示や緊急安全確保等の避難情報を適切に出してください。
- ・ 都道府県知事の皆様方には、住民への周知などについて、市町村への支援をお願いする。また、新型コロナウイルス対策をはじめとして、3つの密を避けるなど、避難者の健康管理についても、十分にご配慮をお願いする。
- ・ 国民の皆様方におかれては、河川や水路、土砂崩れのおそれのある斜面など、危険な場所には近づかず、少しでも危険を感じたら躊躇せずに避難するなど、命を守る行動をとってください。家族や知人への積極的な声かけもお願いする。
- ・ 繰り返しますが、これまでの記録的な大雨により土砂災害の危険度が非常に高まっているところや増水している河川がある。土砂災害に厳重に警戒し、低い土地の浸水にも警戒していただくようお願い申し上げます。

- ・何よりも命を守ることが大切である。国民の皆様方におかれては避難情報や気象情報に留意し、警戒感を緩めないよう強くお願い申し上げます。

(報道関係者退室)

## 5. 閉会